福生新聞
発行所
福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422番
発行人　川上作司

本年流行の
ワンピースとブラウス
全部取揃ました
タケシマヤ
TEL-259

西郡合併の動き

吉野外隣接村合併申入れに
青梅市受入れに極めて慎重

西郡の町村合併問題は去る二日市町村会主催で町村長議長と青梅市側を代表して総務課長等参集、都町村合併審議会委員として木村氷川町長、山崎三田村議長、木崎都会議員出席山崎委員、木崎都議会の模様が報告された。

都審議会では北都都議会員、町村選出委員は北都全部を市制施行を促し、次いで北都を特別区制までに持つて行く傾向にある状況に対し西都としてとるべき態度を如何にすべきやを諮り西都町村長、議長側から種々意見の開陳あり、結局西都としては区制は考慮せず町村合併一本で進むことを再確認、次いで市町村側から交々町村の合併進行状況の説明があつたが西都の合併が遅々として進まぬので都審議会側としては知事答申案を提出の都合等もあり六月二十日頃まで何等かの見透しを得たい旨の希望もあつたが、農業期に入つたので七月のお盆頃までに……ということになつた。

町村合併が遅々として進まぬのは町村側の怠慢であるかのような印象を与えているが町村側をしては着々と打つ手は休まず打つているのでいずれも一歩々々前進を続けているのが現状だ。

吉野、小宮木、成木村に合併を申し入れられた青梅市は早速町村合併研究特別委員会を作つて研究することになり事務当局は関係村の資料を集め特別委員会に資料作成してわたした。

一方研究委員会としては旧青梅町の感情としてはこの際吉野三田、小曾木、成木を合併し大青梅観光都市を建設すべしとの意見が圧倒的に多いのに引換え、調布側の意見としては合併すればすぐにでも水道が引けるようにいつていたにも不拘今以つて口約が果されていない現在三ケ村、四ケ村の合併となれど　更に諸施設の　延引は免れまいから余り乗り気がしていない……という意見の対立をしているそこでこの対立を如何にして一本にまとめるかに目下苦慮し三ケ村の合併の申し入れに対しては慎重に扱われていてその答はなか〳〵出て来ないようだ。

古里村氷川町へ
合併申入れ？

三田村では去る四日合併研究会を開き、先づ山崎議長より都審議会の模様三日地方事務所で開かれた町村長議長会での各プロツクの町村の進捗状況等の報告、更にさきに決定した、三田村案によつて吉野、古里両村に呼びかけた其の経緯等を報告、終つて三田村としてとるべき今後の方針等について協議、種々委員等から意見開陳があつたが結局三田村としては嚮初決定したA案を押し進めることを再確認し其の旨吉野、古里村に同調を求めることゝして散会した。

吉野村は観光施設計画を持つているが、その計画を実施するにはほう大な経費を必要とし従つて青梅市と合併しなければ吉野村としての観光面の建設は不可能の状態にあるが、三田村としての観光面は既に御嶽を中心にスケート場もありケーブルカーもあり旅館施設も一応揃い観光客も春夏秋冬ワンサとやつて来ているという訳けで吉野村とは大変　事情が　異つているというのが　三田村　合併問題に対してドツチリ構えている大きな理由のやうだ従つて青梅市への合併も吉野村のやうに無条件結構……という所謂吸収合併なら、三田村は合併しないで小さいながら三田村でやつて行く……という腹らしい。

熟れにしても三田村としては吉野村が合併申し入れたから早く三田村も合併しないと孤立してしまうだろうと考へてジタバタする必要は毛頭ない……三田村から呼びかけた吉野、古里の態度を見極めた上A案が献目とあらば、三田村としてはヂツクリ考へた上最も三田村として最良の方法をとるだけだ……と語つていた。

古里村では来る十七日三田村から合併問題について懇談したいとの申し入れがあつたので午前中三田村との懇談をし午後合併研究会を開いて結論を出すことになつてないるが古里村としては古里、三田、吉野の三ケ村合併になることをお奨めする。

『新聞班指導の教師にたのんでもらつてきた三枚の旭ケ丘新聞を見ると、父兄生徒新聞に関することは、ほゞ事実に近いように思う、たとえば昨年九月十七日発行のものを見れば大阪で行われた関西平和祭に参加した生徒の手記、洛北平和祭の記事南山城水害地ルポ、映画「ひろしま」の解説などの外に「東京バス案内」という記事が大きく出ているもようと三年生が修学旅行で東京方面へ出かけることになつていたのでその参考のために書かれたものであろう。

「皆さん、これから人口七百余万を数える人間の数だけ世界第三位といわれ、二〇世紀の今日京都の旭ケ丘中学校を二つの学校に分裂させ生徒の奪い合いをして一と騒ぎを演じたがその真相は新聞では報道されていないので一般の父兄はナンノことであつたか知つていないようだ。

文芸春秋七月号は「旭ケ丘」の白虎隊という題名で臼井吉見氏が問題の三叡師とこまごまと事件の経過やら、所謂「平和教育」なるものゝ実体について詳しい説明を聞いたり問題の生徒新聞の内容について照会している新聞の内容について関係外の一般父兄にも参考になろうと思いその内容の一部生徒新聞を転載することにした。勿論内容の一部であるから臼井氏の述べている全貌を知りたい方は文芸春秋七月号を御覧になることをお奨めする。

旭ケ丘中学の紛糾と
生徒新聞の内容

なお、珍しくも封建政治が堂々と行われている日本の心臓部、大東京を皆さんとご一緒に観光いたしましよう」という調子で書きだされているようにバス・ガールの口調に擬して現代の社会、政治への風刺を試みようとしたものらしい。「戦争とコカコラが飯よりすきだという不思議な国」からやつてきた兵隊さんをからかつたり、東京中央郵便局については「こゝの待合所は多くのブローカーたちの無料共同事務所となつております。

そして吉田さんがフリゲート艦を貸してもらうために書いた有名な吉田書簡も、こゝからだされたのであります」と説明され楠正成の銅像に皮肉をあびせ中央気象台については「明日は晴天のもようですが曇つたり雨が降つたりするかもしれませんという不思議な国」からやつてきた兵隊さんをからかつたり、東京中央郵便局については「こゝの待合所は多くのブローカーたちの無料共同事務所となつております。

ことに一応なつておりますが中味は田舎まわりの大根役者やバクチうちどもが集つて、はすかしいような漫才や茶番劇をやつています。この間座頭がヤローとどなつたことが一座は解散しましたが、再び旗名を改めて出発するそうですが曇つたり雨が降つたりするかもしれませんという不思議な国」からやつてきた兵隊さんをからかつたり、東京中央郵便局については「こゝの待合所は多くのブローカーたちの無料共同事務所となつております。

ふつたり風がふいたりふかなかつたりするかもしれませんという不思議な国」からやつてきた兵隊さんをからかつたり、東京中央郵便局については「こゝの待合所は多くのブローカーたちの無料共同事務所となつております。

上げ興行が行われることになつてくれるありがたいお役所」という説明が加えられている。国会議事堂については「こゝは国会議事堂について「こゝは国会議事堂について「こゝは国会議事堂について

野崎戸倉村長初議会出席
施政力針を示し協力求む
助役二名に黒山定良氏追加

去る三月二十一日午前本村の病室に於いて五日市村長野崎戸倉村長は四月八日、桜見楽を八日に執行する旨を告示したが候補者の出馬もあるやも計り難いので、逐に立候補する者が無かつたので同委員会は更に四月二十三日村長選挙を決めて執行する旨を再告示した。

一方は自由党系代表は再告示の場合村内に候補者なく、他町村の立候補者であつては村民の恥辱だ個人間柄が悪くなるとも関らず、今度はどうあつても元村長野崎氏に御願申そうと、村全体の要望を聴聞氏に本人の為め野崎氏の出馬方を懇請した。当初は固辞していた野崎氏も村民全体の要望には抑し切れず遂に出馬を決意したが、其の後新立候補者の出馬もなかつたので四月会村長は投票立村長に当選した。

尚同氏は「当選に際しては投票立村長に当選した野崎氏と共に助役二名と黒山定良氏を追加選任する事に決定した。

二十四日より又は二十八日の初会議に於いて就任挨拶をして議会側の協力を要請する筈である。

前宮本村長の後をうけて今日迄村長に就任して居る十四日より出勤しております。皆さんはすでに御承知の通り長く御奉公をしてきましたが、特別な事もできませんが、誠心誠意を以て昨年からの懸案になつている一、学校問題　は学務組合を二名

羽村水道取入口上に……
結核病院を認可に憤慨
村民大会を開いて阻止に猛反対

羽村の多摩線北立エホテル前多摩水道取入口上流に結核病院建設計画が進められ、村当局では早速村長、助役、収入役、議長、部落総代の六名が去る三月二十日都庁の某部長に水道汚染防止の為結核病院の設置を絶対反対の旨陳情した。

然し

中小企業者の金融機関

信頼出来る内容と実績ある
武陽信用金庫の総代会
十五日から自立促進貯蓄運動展開

一時は保金経済会や○○殖産金庫次ぐという所謂二街の金融機関一が覇を利かし支店等も七つも八つも町内にあったが今はすっかり姿を消し武陽信用金庫だけが厳然と不動の力を示している。

今ではこの武陽信用金庫は中小企業者にとつてかけ換のない大切な金融機関であるということが、はっきりとわかったようだ。中小企業の経営が苦しくなるにつれ、この信用金庫を中小企業者の力で盛り上げてゆくことが何よりも大事なことになつているといつてよいだろう。

去る五月二十五日午後二時から中福生会館で総代四十八名出席の上総代会を開き、昭和二十八年度の事業報告、第六期財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分等を満場異議無く承認、役員理事二名、村山村酒造業渡辺一雄、戸倉村田中銀蔵（森林組合長）の両氏を補充、越えて六月四日総代を選任発表した。

昭和二十三年当時に福生信用組合を設立、組合員二十四名、払込総額十三万五十円を以てささやかに発足し、先づ事業経営の重点を地域が基地たる特殊性に着眼し巧みにその需給経済に根を下した事に始まり、これによつて地域企業者の密接な相談相手となり、不離一体に結びついたことである。その結果戦乱で荒廃しきつた郷土中小企業の経済自立を援けたことから益々信用度を高め発足以来僅か五年半、当初誰人も想像し得なかつた今日の飛躍をみるに至つたのである、試みに二十八年度第六期の業績をみると

預金総額　二億九千三百七拾壱万三千円
貸付金額　二億壱千九百四拾弐万四千円

自己資本金　二千三百三十万四千円
余裕金総額　七千九百九十二万九千円

決算剰余金処分で一割配当を決議決定し、出資金総額一千八百四十四万九千円に達するという当地域に本店を有する法人では将に最大の企業体となつた。

総代の議振れを拝見しても西都各町村の有力筋を網羅するに及び、その業績は地域住民の信頼と相俟つて益々上昇の一途を辿り中小企業者はもとより一般勤労者の信頼し得る金融機関となるに至つた。

新年度事業目標を特に小口一口預金の増強に力を入れ定期積立契約目標を二億万円と決定すると共に経営面においては職員の技術的向上を図り業務の合理化と、不要不急の施設は一切見合せて経営の基礎を磐石のごとくにしておくことにした。

なお来る六月十五日―七月十五日までを自立促進貯蓄運動期間として役職員一体となり、消費を節約して収入の一割の貯蓄勧奨をすることゝなつた。

理事長　加藤市蔵　福生
専務理事　西嶋金雄　〃
常務理事　田村利一　〃
理事　森田誠重　福生
〃　高橋三郎　〃
〃　木住野善四郎　五日市
〃　田村半十郎　福生
〃　福田廉三　〃
〃　岩田佐一　青梅
〃　田中銀蔵　戸倉
〃　渡辺一雄　村山
支配人　戸田靖　東秋留
監事　石川弥八郎　福生
〃　並木俊蔵　西多摩
〃　池谷秀夫　小宮

総代第一区
横田寿照、町田富一、芳梅泰輔、古谷恵三、田村富十郎、田村祐一、秋山市太郎、野村亀之助、深沢老平、並木竹松、中森与一、田村福一、石川伍助、笹本金右衛門、中野常吉、田村市郎、前田儀、野口盛一、山下久吉、小林辰雄、並木秀、井上久右衛門、清水父一、村野善七（以上福生）

小林泰男（多西）森田忠順（小川）
鈴木寛造（多西）杉田万三郎（二宮）

第二区
目黒信一（拝島）平井初五郎（熊川）高橋角蔵（熊川）建部忠憲（拝島）野島為一郎、森田幸三郎（熊川）

第三区
串田八十八（五日市）栗原浪吉（同）高水正平（同）高野満直（戸倉）平野伊太郎（五日市）小川善右衛門（同）萩原平八（戸倉）宇田孟（松原）土屋敬一（同）谷合昇（小宮）山崎泰三（同）宮岡芳雄（大久野）島崎万二（同）羽生幸三（同）上田蔵三（増戸）神田憲七（平井）森田清（同）中村仲蔵（西秋留）

第四区
下田浩司（村山）木崎憲一（瑞穂）

第五区
森田仲蔵、中野林蔵、石田楽市、羽村与三郎、森田繁男、新井長吉（以上羽村）
島田清四郎（以上羽村）
高橋泰次郎、福島喜義、福田良三（以上三田村）
高野安太郎（以上三田村）
野村泰蔵（吉野村）原島康平（古里村）中島重郎（成木村）

信用金庫は現在全国で五七〇金庫会員数百廿二万五千四百人、全国に張りめぐらされた店舗数は二千〇七十九という組織化された大きな力をもちその預金高においても去る三月現在第一位の富士銀行に次ぎ全国の信用金庫預金高は第二位の二千億円の巨額に達し、現在使える金として残つているのが約六億あるという豪勢さで正に貯蓄銀行的な役割を十二分に果しつゝあるのである。

勿論、これだけの力は簡単にできたものでなく数十年に渉る長い間の地味な努力の結晶で、その経営振りも預金者の信託に基いて堅実をモットーとし信用供与にあたつては絶対に不健全な知識で貸出するようなことはしていない。

信用金庫の大部分は以前の産業組合法による信用組合時代からの歴史を持ち、昭和廿六年に制定された信用金庫法にそつて、新しく信用金庫として発足されたものである、そして信用金庫となつてからは厳重な大蔵省の監督と指導の下に発展しつゝあるのがこの信用金庫であり中小企業者の唯一の金融機関たる所以であろう。

なお武陽信用金庫本店の課長には久保島保三（融長）森田忠三（預金）志村繁作（監査）の各氏、支店長としては織戸正義（五日市）関口元司（羽村）竹島益夫（村山）林時太郎（能川）の顔ぶれも練達の士を配すると共に本支店を通じ約七〇名の職員が組合員への心からなる奉仕が出来るよう活躍しているようである。

簡易金融　えのき　田村質店

時局反映熱の入つた
自由党西多摩支部大会

自由党西多摩支部大会は去る六月六日午後一時より福生町テアトル福生で開き支部長以下役員を選任終つて来賓として出席した津島、福田代議士、安井、石井参議員等より国会乱闘事件の真相報告あり時局を反映し「日に平和を唱え謀略と破壊に終始しつつある暴力政党は絶対に排撃すべし」…との決議をなし地元選出我が党議員に鞭撻と声援を送つて無事裡に大会を終つた。

支部役員

支部長　岩浪光二郎
副部長　小川丈右衛門
〃　石塚豊治
町村代表幹事
幹事長　大野惣太郎、副中村啓蔵
杉田勝美、戸塚重雄
総務会長　太田準治、副広瀬貞三
田村福一、谷合昇

政調会長　石塚幸右衛門、副須崎嘉一郎、長塚喜作、市倉林三
町村代表幹事
氷川町　小峯忠義、小峯謙治、清水保男、荒沢延、青年部　牧野申子男、栃元勇、婦人部　栃元ヨネ
島崎竹乃
古里村　藤野健一、清水長次郎、中村慶芳、横山鉄太郎、青年部　福島上、婦人部　小川ユキ、清水テフ
三田村　石川佐一、戸沢田米三郎
田中健治、井上徳一、坂本利一、斎藤美、青年部　横手良三、婦人部　谷合ミヤ
吉野村　須崎喜一郎、岩浪信之助
石川春一、高野仁蔵、橋本宇三郎
青年部　塩泉利郎、婦人部　木下洋子
小曾木村　万田松五郎、田中定吉
市川光久、柳内外次郎、横手谷一
青年部　川崎芳美、婦人部　橋本

駒子
成木村　山田文治、中島重郎、野島厚之、高山喜次、婦人部　武藤カツ
西多摩村　松沢寿雄、中野宗一、木崎明治、島田泰一、小林真一、青年部　松沢明治、下田正一
瑞穂町　根岸源兵衛、源武蔵、池田幸三、山崎市郎、吉岡橘太郎、吉岡義晴、大沢尚、池和田勝三郎
福生町　高橋角蔵、森田誠重、高橋三郎、横田寿照、船木喜平、高吾、野崎喜三郎、山崎泰三、吉岡敬治、山崎高之助、池和田喜之助
中野彰之助、高橋惣三郎、古川武司、吉岡房太郎、榎本浅吉、鳥海邦勝、中村誠一郎、村田一男、村田東次、川鍋五一、根岸哲、清水宇吉、小野敏次、遠藤恒蔵、清水稲蔵、福田大助、青木幸一、片柳健一郎、平原市太郎、宇佐美仲太郎、竹田源次、野村敬太郎、森田益治、田中清吉、谷合彦次郎、北木恒太郎、宇佐美太平、酒井長吉
池田喜一、根岸春之助、金田正作

福生町水道加入者組合結成

福生町の簡易水道は第一回加入者一五〇名あつたのでとりあえず加入者組合を結成、代議員が左の通り役員を選出した。

組合長　田村幾太郎
副組合長　内田左右二
監事　田村福一
〃　深沢孝平

理事　本一山本繁晴、本二守谷光男、本三橋本雄一、本四中野常吉、本四村野啓一、本四板寺芳蔵、本五井上重男、本七山上義作、牧浜一小作勝、志茂一根岸孝太郎、志一河辺富吉

福生駅前通り中元売出し

福生駅前中央商栄会では十六日午後八時より会合を開き、中元売出しを相談する

五日市銀座の中元売出し

五日市商店街五日市銀座の中元売出しは七月三日―十五日までとし福引には特等高級自転車一台、洋服タンス、一等よりその他は家庭必需品を多数準備する模様。五日市商和会の中元売出しの催しは来る十八日決定する予定。

福生商店街の中元売出しに七夕祭りと廻り燈籠

福生町商店街連合会では商店街の中元売出しを側面から景気をつける意味で七月六、七、八日を七夕祭り、九日―二十日までは各店頭に回り趣向をこらして夏の夜に涼味と野趣味をただよわせようと決定し、やがて設立される観光協会の主催とすることになつた。

謹告
福生町商工会
会員各位
金融斡旋
中村質店
羽村駅前

移転広告
毎度御引立を蒙り平素の御愛顧を感謝致します　扨て小店此の度福生銀座通りリラ洋裁店ウラに移転致しましたから御通知申上ます
ホリエ看板店
福生銀座通り　リラ洋裁店裏

家具製造販売
小野木工所
店内製品豊富
どうぞ
御自由に御覧下さい
多西村高瀬
電話福生一〇七番

間違ひなく来る事実
老衰と死の二つ
収入が途絶した老後の生活
養老保険
こども保険　第一生命

品質・風味・栄養を誇る！
保証牛乳
綜合ビタミンAB1CD入
保証ホモ牛乳
保証ヨーグルト
保証クリーム
保証バター
保証牛乳
西多摩工場
電話福生353番

マルミの運動具

台所の能率衛生に
プロパンガス
株式会社　東京瓦斯興業社
電話福生　三五〇・二五一
営業所　福生・小金井・国立
取扱所　青梅・昭和

三菱石油特約店
村野商店
ガソリン
モビールオイル
グリス
スピンドル
ダイナモ
マシン油
石油
軽油
電話福生　573　173
町際　生院　橋　岩清

健康保険歯科医
木村歯科医院
福生町銀座通り　電話五六六

土屋のパン
高級和洋菓子
有限会社
土尾製パン所
電話二二七番

芳香佳絶
嘉泉
特約店
野口屋酒店
電二〇六番

信用出来る建築設計と施工
浄化槽設計と施工
田中工務店
建築、家庭金物
二見尾支店
福生町銀座通り牛浜
電話　福生　四〇三番